



▲町内介護事業所で実際に利用者たちとふれあい、実践的に学ぶ様子

## 認知症ステップアップ講座 介護事業所体験会

健康福祉課と地域包括支援センターによる「認知症ステップアップ養成講座」が3月19日、町内介護事業所で行われました。

12人が参加し、認知症へのより深い知識と、具体的な対応を学ぶため、参加者たちは町内の認知症型デイサービスやグループホームなどの介護

事業所で、実際に利用者たちと触れ合いました。参加者からは「利用者ひとりひとりへの手厚い対応に感動した。参考にしたい」と思い参加したが、参加できて良かった」「初めての施設訪問だったが皆さん楽しく過ごしていて、良い体験ができました」などの感想が聞かれました。

## 心とからだをリフレッシュ 家族介護者交流事業

在宅で介護をしている介護者同士の交流や心とからだのリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が3月6日、福島市で行われ、8名が参加しました。当日は、医王寺で竹灯籠づくり体験を行い、思い思いに作品作

りを楽しみました。摺上亭・大鳥での交流会では、昼食を食べながら日ごろの悩みや介護に対する想いなどを話し合ったり、じゃんけん大会などで交流するなど、みんなで楽しく癒しのひとときを過ごしました。



▶恒例のじゃんけん大会で大盛り上がりする参加者たち



▶静かに上映を待つ参加者たち

## 認知症を知るひととき 映画「99歳母と暮らせば」上映会

認知症に対する理解促進のため、映画「99歳母と暮らせば」の上映会が3月13日、イコーゼ！で開催され、午前・午後の部あわせて149人が参加しました。ドキュメンタリー映画監督である谷光章さんが、認知症が

進む99歳の母・ちえこさんの日々の描いた作品で、日常の親子の意地の張り合いや、思わず吹き出してしまうような会話に、参加者からは笑い声も上がり、リラックスした雰囲気での上映会となりました。